

日本被害者学会学術大会「報告者とテーマ」一覧

大 会	種 類	報告者等	テーマ
第1回学術学会 1990.11.17 慶應義塾大学 三田キャンパス	学会設立 記念講演	長 島 敦	「犯罪と犯罪被害者」 (紹介：宮澤 浩一)
第2回学術大会 1991.6.29 中央大学 駿河台記念館	個別発表 (司会：坪内 宏介)	田 淵 伊 佐 緒	「いじめの被害体験をもつ非行少年」
		内 山 絢 子	「福祉犯被害者の行動特性」
		加 藤 久 雄	「組織犯罪における被害者の問題性」
	個別発表 (司会：瀬川 晃)	安 田 憲 司	「相談情報に基づく消費者被害の調査分析」
		河 合 幹 雄	「刑事司法における被害者の役割」
		富 田 信 穂	「アメリカ合衆国における犯罪被害者援助プログラムの運用状況」
	共同研究	『悪質商法被害者にみる被害意識と被害者特性』 (司会：諸澤英道)	
		西 村 春 夫	『悪質商法被害者にみる被害意識と被害者特性』 (司会：諸澤英道)
		小 林 恒 夫	
		加 藤 敬	
		木 村 晋 介	
		荒 井 多 賀 子	
	オープン・フォーラム	(座長) 渥 美 東 洋 細 井 洋 子	「私の被害者学」
第3回学術大会 1992.6.27 慶應義塾大学 三田校舎	個別発表	林 弘 正	「親による性的虐待の被害」
		小 木 曾 綾	「フランスにおける被害者救済策」
		菊 田 幸 一	「死刑と被害者感情」
	講演	趙 均 錫	「韓国の被害者補償制度の運用と成果について」 (司会：記載なし、通訳：記載なし)
	共同研究	『子どもの被害と被害対策』(座長：西村春夫・高橋則夫)	
		秦 政 春 吉 沢 寛 安 藤 博	(ディスカッサント：森田洋司・土井隆義・田宮寛巳)
	オープン・フォーラム	(座長) 村 田 宏 雄 細 井 洋 子	「被害者の発見」
第4回学術大会 1993.6.26. 早稲田大学 小野記念講堂	個別発表 (司会：伊藤 順通)	中 村 俊 規 小 田 晋	「レイプの被害者研究」
		小 西 聖 子 山 上 皓	「犯罪被害者相談における PTSD と危機介入の症例」
		西 村 春 夫 諸 澤 英 道 勝 股 美 代 子	「高齢者の消費行動と被害化」
	講演	中 田 修	「日本における被害者学の黎明期について」 (紹介：山上 皓)

	共同研究	『犯罪者の矯正保護における被害者の視点』（司会：瀬川 晃）	
		須々木 主一	『犯罪者の矯正保護における被害者の視点』
		橘 偉 仁	
		北 澤 信 次	
第5回学術大会 1994.6.25 京都産業大学 神山ホール	個別発表 (司会：藤本 哲也)	太 田 達 也	「アジアの被害者学－インドネシアを中心として－」
		吉 川 和 男 小 西 聖 子 山 上 皓	「精神障害者による暴力犯罪の被害者について」
		荒 木 伸 怡 辰 野 文 理 富 田 信 穂	「身体犯の被害者および遺族の実態」
	講演	尹 英 根	「韓国被害者学会の動き」 (紹介：宮澤 浩一)
	共同研究	『クレジット取引の病理現象と対策－増加する多重債務者についての考察－』 (司会：長尾治助)	
		加 藤 敬	『クレジット取引の病理現象と対策－増加する多重債務者についての考察－』
		日 台 松 子	
		尾 田 真 言	
		安 彦 和 子	
		木 村 達 也	
第6回学術大会 1995.6.24 中央大学 駿河台記念館	個別発表 (司会：瀬川 晃)	朴 元 奎	「アメリカ被害者学の最近の動向」
		西 村 春 夫 辰 野 文 理	「実務家から見た被害者政策の動向と展開」
		小 西 聖 子	「阪神大震災における心的外傷後のストレス反応－心理的被害者援助の試み－」
	基調講演	Anthony M. P l a t t	「不平等との共存－アメリカ合衆国における人種とその被害者化に関するディスコースの変遷－」 (司会・通訳：藤本 哲也)
	共同研究	『犯罪に対する国民の被害不安感』（司会：宮澤浩一）	
		C.Schwarzenegger	『犯罪に対する国民の被害不安感』
		伊 藤 康 一 郎	
		辰 野 文 理	
第7回学術大会 1996.6.29 国士舘大学 世田谷校舎	個別発表 (司会：柳本 正春)	山 上 皓 Friday(P.C) Dussich(J.P) 岡 田 幸 之 小 西 聖 子	「銃等の凶器の所持にかかわる犯罪被害についての調査研究」
		小 西 聖 子	「大学生・看護学生における性被害」
		金 容 世	「韓国における道路交通事故の被害者特性に関する研究」
	個別発表(司会：椎橋隆 幸)	小 林 寿 一	「侵入盗被害者に対する警察の対応について」
		吉 田 敏 雄	「示談の現状とその意義：被害者調査から」
		長 井 進	「被害者援助におけるボランティアの養成」

	基調講演	Marcus Felson	「被害者と犯罪者—ルーティン・アクティビティと合理的選択—」 (司会：西村 春夫、通訳：朴 元奎)
		Ronald Clarke	「合理的選択理論における被害者のイメージ」 (司会：西村 春夫、通訳：守山 正)
	シンポジウム	『宗教と被害者』(司会：渡辺則芳)	
		清水 章子	「宗教関連トラブルについて—消費者相談窓口の現場から—」
		藤森 克美	「マインドコントロールによる人生破壊被害」
		原 田 保	「宗教的活動に対する刑法の適用—その機能と限界」
<u>第8回学術大会</u> 1997.6.21 中京大学 名古屋学舎センタービル	個別発表 (司会：瀬川晃、愛知正博)	増本 弘文	「ライフスタイル理論の現状と展望」
		小西 由浩	「“ラディカル”な被害者学の系譜—イギリスにおけるレフト・リアリズムと犯罪被害者—」
		月 足 一 清	「保険金目的夫婦間殺人の被害者学的考察—1970～1994年の全事件に基づく犯罪防止のための試論—」
		諸澤 英道 富田 信穂 長井 進 J. Dussichi 中島 聡美 辰野 文理	「米国における被害者援助プログラムの実態に関する調査」
	基調講演	Jörg-Martin Jehle	「ドイツにおける被害者学の近時の動向—加害者＝被害者和解と被害者保護を中心として—」 (司会：宮澤 浩一、通訳：太田 達也)
	シンポジウム	『セクハラ被害者』(司会：空井健三)	
		上田 純子	「日本における法的救済の現状と限界」
		西尾 弘美	「セクハラ110番の現状と事例」
		桑原 昌宏	「セクハラ被害者の法的救済—比較法的観点から—」
<u>第9回学術大会</u> 1998.6.20 中央大学 駿河台記念館	個別発表 (司会：渥美東洋・椎橋隆幸)	長井 進 中島 聡美 富田 信穂 J. Dussich	「アメリカ合衆国における被害者に対する危機介入活動」
		安藤 久美子 笹川 真紀子 小西 聖子	「児童期の性的被害について—日本の成人女性調査から—」
		諸澤 英道 富田 信穂 長井 進 辰野 文理	「ニュージーランドの被害者政策」
		奥村 正雄	
			「イギリスにおける被害者対策の現状」

	基調講演	馬 克 昌	「中国における被害者学」 (司会：大谷 實、通訳：王 雲海)
	シンポジウム	『子供の社会化を取り巻く周辺事情の変化』(司会：宮澤 浩一)	
		坂 本 俊 哉	「青少年の不幸の背景をさぐる—生涯教育の観点から—」
		安 藤 博	「学校教育と『被害』」
		岩 井 宜 子	「家庭内の被害（児童虐待）」
第 10 回学術大会 1999.6.26 同志社大学 同志社新島会館	個別発表 (司会：岩井 宜子)	内 山 絢 子 岡 部 亨 市 宮 寺 貴 之 加 門 博 子	「地下鉄サリン事件被害者の被害実態に関する研究—傷害の程度別分析—」
		藤 田 悟 郎	「交通事故被害者の調査結果について—交通事故遺族の心的反応を中心に—」
		安 藤 久 美 子 岡 田 幸 之 穴 田 富 美 子 山 上 皓	「犯罪被害者の実態—一次被害、二次被害及び PTSD—被害者の求める援助とは—」
	基調講演	M a r c Groenhuijsen	「ヨーロッパにおける被害者学の動向—被害者サービスのためのヨーロッパ・フォーラムの活動を中心として—」 (司会：宮澤 浩一、通訳：太田 達也)
	特別講演	莫 洪 憲	「中国における犯罪被害者保護の現状について」 (司会：宮澤 浩一、通訳：黎 浩)
	10 周年記念 シンポジウム	『被害者学の軌跡と展望』(司会：椎橋隆幸)	
		宮 澤 浩 一 富 田 信 穂	「被害者学の軌跡と展望」
		渥 美 東 洋 甲 斐 行 夫 太 田 裕 之	「刑事手続における被害者の法的地位」
		高 橋 則 夫	「被害者の経済的支援」
		山 上 皓 中 島 聡 美	「民間援助組織による被害者支援」
		森 田 洋 司 伊 藤 康 一 郎	「犯罪被害の社会学的考察」
第 11 回学術大会 2000.6.17 東洋大学 スカイホール	個別発表 (司会：細井 洋子)	内 山 絢 子	「性犯罪加害者の社会的態度」
		板 垣 喜 代 子	「性暴力被害者に二次被害をもたらす要因の研究—茨城県の医療従事者の実態調査から—」
		郷 原 信 郎 染 田 恵 子 栗 栖 素 子 岡 田 和 也 橋 本 三 保 子	「犯罪被害の実態と被害者の捜査・裁判に関する認識・要望等について」
		穴 田 富 美 子 山 上 皓	「事件直後の被害者実態調査による二次被害要因の分析」
		堺 次 男	「マルチ商法被害の歴史と対策について」

		加 藤 敬	「マルチ商法とその被害—カルトとしてのマルチ商法の実態」
		加 藤 直 隆 安 彦 和 子	「マルチ商法の被害と被害者—カルトとしてのマルチ商法の規制」
		夷 石 多 賀 子	「消費者被害の救済と消費者契約法等、新しい法整備の課題—不適正取引行為による消費者被害の救済を中心として—」
		新 恵 里	「アメリカ合衆国におけるヘイトクライムの現状と被害者援助」
	基調講演	Richard Blath	「刑事事件における和解—ドイツや他のヨーロッパ諸国における近時の動向—」 (司会：大谷 實、通訳：岡本 美紀)
	シンポジウム	『被害者保護を巡る法的課題—刑事訴訟法改正の評価と基本法の在り方を巡って』 (司会：椎橋隆幸・山上皓)	
		甲 斐 行 夫 岩 井 宜 子 奥 村 正 雄 高 原 勝 哉	『被害者保護を巡る法的課題—刑事訴訟法改正の評価と基本法の在り方を巡って』
第12回学術大会 2001.6.23 専修大学 神田校舎	個別発表 (司会：諸澤 英道・日高義 博)	浜 井 浩 一 岡 田 和 也	「第4回国際犯罪被害者実態調査に表れた我が国犯罪被害の特徴について」
		大久保 恵美子 阿久津 照美	「被害者支援に求められるもの—被害者遺族のアンケート調査より」
		松 田 美 智 子 古 田 薫	「少年院在院者の被害経験について」
		吉 川 真 美 子	「地域社会と刑事司法の連携による被害者支援—アメリカにおける DV 被害者支援活動 advocacy の特徴」
	基調講演	蔡 徳 輝	「台湾における被害者支援の動向」 (司会：宮澤 浩一、通訳：陳 慈幸)
	シンポジウム	『少年犯罪と被害者』(司会：椎橋隆幸・中島聡美)	
		川 出 敏 裕	「少年司法制度における被害者の地位」
		後 藤 弘 子	「改正少年法と被害者支援の行方」
		細 井 洋 子	「被害者支援から関係修復の対応へ—南オーストラリアにおける一つの民間組織の活動を通して」
		矢 代 龍 雄	「家裁調査官の立場からみた今後の被害者とのかわり」
第13回学術大会 2002.6.8 大阪市立大学 杉本キャンパス	個別発表 (司会：森田 洋司・加藤克 佳)	林 弘 正	「児童虐待—若干の事例研究」
		隅 田 陽 介	「刑事手続への被害者の参加—アメリカ合衆国の VIS を中心に」
		加 藤 敬	「商品先物取引の消費者被害の実態と問題点」
		浜 井 浩 一 岡 田 和 也	「第1回犯罪被害実態(暗数)調査—先進12か国に関する国際比較」
	基調講演	J o h n Braithwaite	「被害者支援の思想(The Philosophy of the Victim Support)」 (司会：記載なし、通訳：平山真理)
	シンポジウム	『被害者支援のプライヴァタイゼーション』(司会：大谷實)	
		染 田 恵	「被害者支援に対する被害者のニーズ」

		奥 村 正 雄	「民間被害者支援団体の役割」
		小 宮 信 夫	「NPO と被害者支援」
		森 村 進	「リバタリアリズムと被害者支援」
第 14 回学術大会 2003.6.14 常磐大学 H 棟	個別発表 (司会：富田 信穂・川本哲 郎)	矢 作 由 美 子	「(財) 法律扶助協会における犯罪被害者法律 援助の可能性」
		板 垣 喜 代 子	「A 精神病院に入院した性暴力被害者の予後 に関する研究」
		小 長 井 賀 典	「更生保護と被害者」
	基調講演	宮 澤 浩 一	「被害者学の展望」 (司会：記載なし)
	共同研究	『犯罪被害者と刑罰』(司会：記載なし)	
		高 橋 則 夫	「はじめに一犯罪被害者と刑罰」
		諸 澤 英 道	「犯罪被害者の視点からみた刑罰」
		松 村 良 之	「刑罰の社会心理学と犯罪被害者」
		前 原 宏 一	「刑法と犯罪被害者」
		小 木 曾 綾	「刑事手続と犯罪被害者」
第 15 回学術大会 2004.6.12 早稲田大学 小野記念講堂	個別発表 (司会：椎橋 隆幸・太田達 也)	富 田 信 穂	「「修復的司法」に対する人々の意識—日豪比 較を中心として—」
		奥 村 正 雄	「犯罪被害者のニーズ—2 回の犯罪被害者実 態調査を通して—」
		陳 慈 幸	「近時台湾における性犯罪の状況に対する分 析—特に性犯罪被害者の法律的な支援と加 害者に対する治療、刑罰について—」
		橋 本 祐 子	「リバタリアニズムからみた犯罪被害者の権 利」
	基調講演	戸 波 江 二	「人権としての被害者の権利—人権理論によ る基礎づけの試み—」 (司会：記載なし)
	共同研究	『犯罪者化予防の戦略 (ストラテジー)』(司会：記載なし)	
		辰 野 文 理	「被害者化予防の戦略—共同研究にあたって —」
		首 藤 祐 司	「被害者化予防の実践的取組み」
		樋 村 恭 一	「被害者化予防の空間設計」
		後 藤 弘 子	「私的領域における被害者化予防」
		伊 藤 康 一 郎	「被害者化予防の理論と課題」
第 16 回学術大会 2005.6.4 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス	個別発表 (司会：藤本 哲也・瀬川 晃)	滝 沢 誠	「ドイツの訴訟参加制度と被害者保護新法」
		金 根 模	「最近の韓国の検察における被害者保護対策 の取り組み」
		宿 谷 晃 弘	「修復的刑罰論における被害者の地位につい て—DV への対応を中心として—」
		太 田 達 也	「地方自治体による被害者支援の意義と課題 —被害者支援条例を中心として—」
	基調講演	森 田 洋 司	「学校における問題行動の状況と対応におけ る今日的課題」 (司会：記載なし)
	共同研究	『少年犯罪の被害者に対する支援と損害回復』(司会：椎橋隆幸)	
		藤 森 和 美	「学校現場で起きる子どもたちの被害体験と その心のケア」
		高 原 勝 哉	「少年犯罪における仲裁センターの役割」
		鮎 川 潤	「少年の更生と被害者の損害回復」

		加 藤 雅 信	「少年犯罪における民事賠償」
第 17 回学術大会 2006.6.10 日本大学 三崎町キャンパス	個別発表 (司会：奥村 正雄・川本哲 郎)	萬 羽 ゆ り	「日本における外国人女性の人身取引被害者の保護」
		陳 慈 幸	「台湾の受刑者処遇および仮釈放における被害者対策」
		柴 田 守	「少年犯罪被害者と修復的司法」
		矢 野 恵 美	「スウェーデンにおける性犯罪対策」
		倉 田 靖 司	「公証制度を利用した被害の回復について」
	基調講演	山 上 皓	「犯罪被害者等基本法の制定と今後の課題」 (司会：記載なし)
	共同研究	『犯罪被害者等基本法の重点施策』(司会：太田達也)	
		白 井 孝 一	「犯罪被害者等基本法の全体的評価－被害者の立場から」
		川 出 敏 裕	「被害者の手続関与」
		富 田 信 穂	「経済的損害回復制度」
		加 茂 登 志 子	「医療・福祉制度」
第 18 回学術大会 2007.6.9 獨協大学 天野貞祐記念館	個別発表 (司会：川本 哲郎・高橋則 夫)	阿 久 津 照 美	「『今後の被害者支援を考えるためのアンケート』調査報告」
		有 園 博 子	「弁護士支援を受けている犯罪被害者への心理的支援の現状と今後の司法と保健医療との連携について」
		矢 作 由 美 子	「民間支援機関を利用する外国籍女性への支援活動と今後の課題」
		中 島 聡 美	「精神科医療機関における犯罪被害者の診療の実態」
	基調講演	大 谷 實	「刑事立法と犯罪被害者」 (司会：椎橋隆幸)
	共同研究	『児童虐待防止に向けて』(司会：安部哲夫)	
		片 倉 昭 子	「児童相談所の現場から」
		奥 山 眞 紀 子	「医療現場から」
		相 沢 仁	「厚生労働省の施策」
		岩 井 宜 子	「法制度について」
第 19 回学術大会 2008.6.14 京都産業大学 12 号館	個別発表 (司会：小木 曾綾・奥村正 雄)	吉 村 真 性	刑事手続における被害者参加論—『三極モデル構造論』による分析—
		青 山 真 由 美	被害者遺族が受ける報道被害と新聞記者の認識—配慮ある取材関係の構築に向けて—
		黒 澤 睦	犯罪被害者と刑事司法過程との関係のあり方—告訴・親告罪制度を参考に—
		千 手 正 治	ニュージーランドにおける修復的司法の評価：被害者の満足度を中心として
	基調講演	Irvin Waller	「被害者支援の国際標準化」 (司会：岩井宜子、通訳：太田 達也)
	シンポジウム	『犯罪被害者等基本計画の実施と今後の課題』(司会：瀬川晃)	
		椎 橋 隆 幸	「刑事訴訟法等について」
		小 西 聖 子	「精神的・身体的被害について」
		佐々木 真 郎	「警察の施策及び犯給法について」
		太 田 達 也	「犯罪被害者の生活支援—地方自治体の取り組み」
第 20 回学術大会	個別発表	小 木 曾 綾	「被害者学の法律化」

2009.6.13 慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎 519 教室	(司会：奥村 正雄)	麻 生 利 勝	「被害者としての企業」
	基調講演	渥 美 東 洋	「21 世紀の被害者学」 (司会：太田達也)
	シンポジウ ム	『被害者学のパースペクティブ』(司会：岩井宜子・椎橋隆幸)	
		辰 野 文 理	「被害者学における実証的研究」
		富 田 信 穂	「被害者支援のグローバル化」
		小 長 井 賀 典	「司法への被害者参加」ー実務の現状からー
		細 井 洋 子	「司法への被害者参加」ー研究者の立場からー
第 21 回学術大会 2010.6.12 武蔵野大学 6 号館(60 周年記念館・雪頂講堂)	個別発表 (司会：諸澤 英道、川本哲 郎)	矢 作 由 美 子	「2009 年人身取引対策行動計画の現状と課題」
		鮎 田 実	「精神病に罹患している加害者により被害を受けた者への対応の問題」
		柳 本 佑 加 子	「性暴力被害者支援の新たな展開に向けて～女性に対する暴力被害者支援の現場からの挑戦」
		藤 森 和 美	「学校での緊急支援についてー横浜モデル」
	基調講演	鄭 根 在	「韓国における性犯罪被害者の支援」 (司会：太田達也)
	シンポジウ ム	『性被害対策の実効化に向けて』(司会：山上皓)	
		滝 沢 誠	「性犯罪の審理と裁判員制度」
		番 敦 子	「性暴力対策基本法立法の必要性・可能性」
		松 本 俊 彦	「わが国における性被害の実態」
		佐々木 静子	「被害者支援体制をいかに創るか(連携も含めて)」
第 22 回学術大会 2011.6.11 同志社大学 臨光館(201 教室)	個別発表 (司会：細井 洋子)	石 井 涼 子	「犯罪被害者遺族のエンパワメントの過程ー犯罪被害者支援団体で活動する遺族を事例としてー」
		伊 藤 康 一 郎	「リスク社会と被害者」
		小 西 聖 子	「DV 被害者の司法に関わる活動への心理的専門的サポート」
	基調講演	朴 光 玫	「韓国の被害者参加制度ー韓国の法務部改正案と日本の制度との比較を中心としてー」 (司会：椎橋隆幸、通訳：姜景来)
	シンポジウ ム	『犯罪被害者の社会参加』(司会：森田洋司)	
		前 原 宏 一	「総論」
		諸 澤 英 道	「犯罪被害者の社会活動」
		小 柳 武	「VIP」
		柑 本 美 和	「被害者参加制度が被害者に与える影響」
第 23 回学術大会 2012.6.2 女性就業支援 センター (ホール)	個別発表 (司会：太田 達也)	氏 家 仁	「韓国の刑事手続における犯罪被害者に関連する制度ー犯罪被害者の供述を中心としてー」
		宿 谷 晃 弘	「慈愛と統制：戦前の刑罰思想と被害者の損害填補に関する言説分析」
		ジョン・ドゥーシ ッ	「反復被害：被害防止、法制度、被害者支援サービスに示唆を与える新たな知見」

(但し、開催校は 常磐大学)	基調講演	藤 本 哲 也	「私と被害者学」 (司会：岩井宜子)
	シンポジウ ム	『振り込め詐欺の被害者学的検討』(司会：安部哲夫)	
		池 田 宏	「振り込め詐欺の現状と被害対策」
		辰 野 文 理	「振り込め詐欺の被害者心理」
		河 合 幹 雄	「振り込め詐欺の社会学的分析」
		齋 藤 大	「振り込め詐欺の被害予防」
第24回学術大会 2013.6.1 早稲田大学 小野記念講堂	個別発表 (司会：小木 曾綾、小西聖 子)	阿 部 千 寿 子	「被害者参加人の権限の範囲について」
		柴 田 守	「性犯罪の非親告罪化と被害者保護」
		成 澤 知 美	「検視(検死)及び司法解剖時の被害者遺族 に対する警察官の対応及び意識について」
		高 原 勝 哉	「岡山県内における性的被害の実態—女子大 生に対するアンケート調査から—」
	基調講演	岩 井 宜 子	「ジェンダー被害者学の必要性」 (司会：椎橋隆幸)
	シンポジウ ム	『リスク社会における事故と被害者』(司会：川本哲夫)	
		伊 藤 康 一 郎	「総論(事故と被害者)」
		佐 藤 健 宗	「大規模事故の被害者のおかれた状況」
		川 出 敏 裕	「事故調査と刑事手続」
		後 藤 章 文	「大規模事故における被害者支援」
第25回学術大会 2014.6.14 京都産業大学 むすびわざ館	個別発表 (司会：川出 敏裕、川崎友 巳)	呉 柏 蒼	「台湾における犯罪被害者補償制度の改革」
		中 村 真 利 子	「被害者の供述の許容性」
		小 松 原 織 香	「被害者の回復にとって赦しとは何か—性暴 力被害者が修復的司法へ参加した事例を通し て—」
		渡 辺 暁 彦	「いじめ防止対策推進法の成立と今後の課題 —被害児童等・親の教育権と学校の調査・報 告義務をめぐる問題を中心に—」
	基調講演	諸 澤 英 道	「被害者学の過去、現在、未来」 (司会：高橋則夫)
	シンポジウ ム	『犯罪被害者への経済的支援—犯給制度の再評価と展望—』 (司会：富田 信穂)	
		滝 澤 依 子	「犯罪被害給付制度の運用について」
		武 内 大 徳	「被害者支援の現場から」
		奥 村 正 雄	「犯給制度の現状と課題」
		滝 沢 誠	「犯給制度と社会保障制度との関係について —ドイツを例に—」
第26回学術大会 2015.6.13 中央大学 駿河台記念館	個別発表 (司会：川本 哲郎、中島聡 美)	伊 比 智	アメリカ合衆国における児童ポルノの所持事 件の被害弁償(restitution)について
		藤 原 琢 也	過失事故加害者の被害者化
		浅 野 敬 子	性暴力被害者の支援—ワンストップ支援セ ンターと精神科医療の連携と課題
		平 川 和 子	
		小 西 聖 子	
		伊 藤 富 士 江	更生保護における犯罪被害者等施策の現状 と課題—心情等伝達制度に焦点を当てて—
	基調講演	戒 能 民 江	被害者とはだれか—女性に対する暴力と被害 者学
	シンポジウ	『ストーカー被害の防止と被害者の保護』 (オーガナイザー：宮園 久栄)	

	ム	小 早 川 明 子	当 NPO におけるストーカー被害者と加害者の実像、解決のための支援体制について思うこと
		福 井 裕 輝	ストーカー加害者対策
		野 地 章	警察におけるストーカー対策
		長 谷 川 京 子	被害者の保護と法的支援
第 27 回学術大会 2016.6.11 明治大学 駿河台キャンパス	個別発表 (司会：小柳武、洲見光男、滝沢誠)	風 間 効	いじめ等の民事裁判における請求人及び被請求人の範囲の拡大化
		松 本 克 美	民事消滅時効への被害者学的アプローチー児童期の性的虐待被害の回復を阻害しない時効論の構築のためにー
		田 中 優 企	取り調べの録音・録画制度と犯罪被害者の保護ー記録媒体の証拠調べに係る問題を中心にー
	基調講演	椎 橋 隆 幸	被害者学・被害者支援の現状と課題
	シンポジウム	『性犯罪被害者の支援ー法整備と支援体制の強化ー』 (オーガナイザー：後藤 弘子)	
		宮 島 広 成	警察の性犯罪捜査について
		平 川 和 子	24 時間ホットラインの現場からー被害者が訴える実態と性犯罪規定とのズレー
		望 月 晶 子	弁護士からみた性犯罪被害者支援
		川 崎 友 巳	性犯罪に関する刑法改正
第 28 回学術大会 2017.6.3 京都学園大学 京都太秦キャンパス	個別発表 (司会：辰野文理)	南 部 さ お り	公立学校運動部活動内における重大被害と学校および司法の対応
		内 山 真 由 美	冤罪防止策の充実と犯罪被害者の関係
		土 井 和 重	犯罪行為者と被害者による自律的な紛争解決が有する刑事政策上の意義とその限界ードイツ刑法 46 条 a の導入は過剰な法律化であったのか？ー
	基調講演	田 村 正 博	被害者学と被害者政策
	シンポジウム	『犯罪者処遇における犯罪者の更生と被害者の回復』 (オーガナイザー：小柳 武)	
		藤 野 京 子	刑事施設における被害者の視点を取り入れた教育の実情
		溝 口 麻 美	少年院における「被害者の視点を取り入れた教育」の実情ーある女子少年院の取組からー
		左 近 司 彩 子	更生保護における犯罪被害者
		和 氣 み ち 子	被害者の視点を取り入れた教育に携わって感じること
		小 長 井 賀 與	被害者の包摂と回復、並びに加害者の再統合
第 29 回学術大会 2018.6.23 東洋学園大学 本郷キャンパス	個別発表 (司会：河合幹雄、柴田守)	多 田 庶 弘	性的被害を受けた男性の問題と支援
		山 本 こ の み	性犯罪被害者精神鑑定の実態ー東京地方検察庁管内の事例調査から
		小 西 聖 子	地方公共団体における犯罪被害者等支援ーとくに基礎自治体と広域自治体の役割分担と連携について
		尾 崎 万 帆 子	台湾における没収制度の運用による被害者支援
		吳 柏 蒼	犯罪被害者庁を中心とした北欧の犯罪被害者支援
	基調講演	齋 藤 実	犯罪被害者庁を中心とした北欧の犯罪被害者支援
		細 井 洋 子	犯罪被害者と「修復的司法」 (Restorative Justice) ー理論と実証

	シンポジウム	『関係性からみた犯罪被害—実証研究からのアプローチ』 (オーガナイザー：辰野 文理)	
		中 島 聡 美	性暴力被害者のメンタルヘルスに加害者との関係性が与える影響
		白 岩 祐 子	被害者・加害者の関係性が刑事司法におよぼす影響：被害者・遺族調査にもとづいて
		相 馬 敏 彦	DV の被害化に影響する親密関係でのバイアスのはたらき
		島 田 貴 仁	関係性が被害者の意思決定に与える影響—通報と援助要請を中心に—
第 30 回学術大会 2019.6.22 桐蔭横浜大学	個別報告 (司会：辰野 文理)	山 梨 光 貴 柴 田 守 栄 宮 園 久 栄	婦人保護施設等への調査結果からみた性暴力被害者支援の課題
		村 木 保 久 横 山 潔 覺 正 豊 和	「いじめ防止対策推進法」にもとづく実地調査から見た被害者保護の課題
		田 村 正 博 新 恵 里	DV 被害者相談における警察と民間被害者支援組織の比較分析～仮想事例調査とその言語分析を中心として
	第 30 回 記念講演	関 建 植	祝 辞
		王 添 盛	祝 辞
		元 恵 郁	韓国における被害者支援の現状と課題
		廖 英 藏	台湾における被害者支援の現状と課題
	シンポジウム	『被害者学の展望』 (コーディネーター 太田 達也)	
		島 田 貴 仁	被害と被害者をめぐる実証研究のあり方：一次～三次予防に向けて
		河 合 幹 雄	被害者学理論構築の可能性
		安 田 貴 彦	被害者支援をめぐる法制度の課題
		小 西 聖 子	支援の現状から見る今後の困難課題—被害者になれない被害者—
2020 年度の学術大会は中止			
第 31 回学術大会 2021.6.5 慶應義塾大学 (オンライン)	個別報告 (司会：小西 暁和)	中 山 千 秋 中 島 聡 美 浅 野 敬 子 今 野 理 恵 子 山 本 このみ 大 岡 友 子 佐々木 真 由 美 小 西 聖 子	被害者支援施設と精神科医療機関等との連携についての研究 - PTSD 治療の視点から—

		高 良 幸 哉	インターネットを介する児童に対する性被害について
		大 岡 由 佳 伊 藤 富 士 平 山 真 理 大 塚 淳 子	犯罪被害者等の制度・サービス利用と被害回復
	基調講演	平 井 紀 夫	「被害者支援活動の現状・課題と今後の展望」 —民間被害者支援団体として—
	シンポジウム	「犯罪者による損害賠償の実現のために求められるもの」 (コーディネーター 四方 光)	
		番 敦 子 江 藤 里 恵	損害賠償を得られない被害者の現状とその課題
		山 本 和 彦	債務者の責任財産の開示手続の現状と課題 —令和元年民事執行法改正とその前史を踏まえて—
		川 出 敏 裕	犯罪者処遇と被害弁償の関係
		呉 柏 蒼	(指定討論) 犯罪被害者の損害賠償の実現に対する支援—台湾法の観点から
第 32 回学術大会 <u>2022.6.4</u> 慶應義塾大学 (オンライン)	個別報告 (司会：中島 聡美、滝沢 誠)	大 屋 未 輝	医療観察法における保護者である家族が抱える負担に関する研究
		芝 池 俊 輝	ハーグ条約によって子の返還に直面する DV 被害者が抱える課題—法学及び臨床心理学的 観点から—
		川 澄 真 樹	インターネット上での児童を被害者とする犯 罪への対応—「おとり」による警察の活動に ついて—
		阿 部 千 寿 子	矯正・更生保護における被害者施策の見直し
	基調講演	川 本 哲 郎	被害者学研究と被害者支援
	シンポジウム	「デジタル社会と被害者」 (コーディネーター 伊藤 富士江)	
		安 平 俊 伸	警察におけるインターネット上の違法情報等 への対応について
		高 田 裕 介	総務省におけるネット上の誹謗中傷対策につ いて
		中 嶋 辰 弥	ホットライン活動を通じた違法有害情報への 対策について
		藤 川 大 祐	ネット利用における児童の被害への対応
		金 尻 カ ズ ナ	デジタル性暴力・性的搾取の相談支援
第 33 回学術大会 <u>2023.5.20</u>	個別報告 (司会：柴田	尾 崎 万 帆 子	市区町村における犯罪被害者等支援施策の現 状と課題 —全国市区町村に対するアンケー ト調査結果から

同志社大学 (ハイブリッド)	守、堤和通)	四 方 奨	被害者実名発表および実名報道の法的検討について
		山 梨 光 貴 柴 田 守	COVID-19 パンデミックへの対応がもたらした機会理論の進展と被害予防策
		伊 比 智	犯罪被害者の損害回復についての日米の比較
		太 田 達 也	受刑者の被害者に対する損害賠償の実効化—政策提言に向けて—
	基調講演	高 橋 則 夫	刑罰論における被害者の地位—拘禁刑創設・被害者保護・修復的司法をめぐる—
	シンポジウム	「潜在化している被害者への対応」 (コーディネーター 宮木 康博)	
		村 橋 摩 世	潜在化している被害者に関する統計調査と捜査の困難性
		仲 真 紀 子	〈潜在化している被害者〉の声を聞き取る—司法面接の取組み
		長 谷 川 桂 子	法的支援の観点から—女性の被害を中心に
		大 塚 淳 子	障がい者の被害が潜在化する要因について
	個別報告 (司会：柳川重規)	小 松 原 織 香	被害者性を持つ地域と記憶の継承 水俣地域を事例にあげて
		平 山 真 理	犯罪被害者の権利の観点から考える裁判員制度の課題と展望
	基調講演	イ ー バ ル ・ アンドレ・ホルム	ノルウェーの犯罪被害者庁(暴力犯罪補償庁)について
	シンポジウム	「地域における被害者支援のあり方—沖縄で被害者に寄り添う人々—」 (コーディネーター 齋藤 実)	
		池 原 泰 子	沖縄における被害者支援の現場
		村 上 尚 子	米兵による性犯罪被害者への支援：弁護士としての立場から
		高 里 鈴 代	沖縄における性犯罪被害者への支援の歴史
		矢 野 恵 美	沖縄県犯罪被害者等支援基本計画について

第34回学術大会
2024.6.29
琉球大学
(ハイブリッド)